
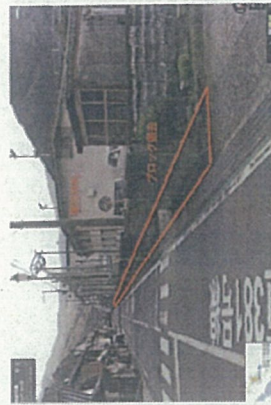




通学路における交通上の危険箇所調査票/対応策

夏-22

学校名	昭和小学校	校長
路線名	国道・市町村道 (381 号線)	担当者 職名
場所 (番地・目録簿等)	学校前の国道	
危険な状況	学校前の国道で徒歩通学児童が歩行しているが、路側帯が狭くかつ道路幅全体が狭い上に、交通量が多く通行車両のスピードも極めて速いため非常に危険である。	
その他参考となる事項		
【地図添付】	   	

※ 可能な限り写真を添付(データのプリントアウト等)

特に緊急対応の必要がある場合は記載してください。

道路管理者	高知県須崎土木事務所四万十町事務所
①短期的な対策	<p>【四万十町事務所】</p> <p>路側帯のカラー舗装化 H25</p> <p>警戒標識、標示等の設置 H25</p> <p>【教育委員会(町)】</p> <p>校舎正面付近の見通し改善の検討(樹木の伐採等) H30</p>
②中長期的な対策	<p>【四万十町事務所・教育委員会(町)】</p> <p>ブロック塀等の撤去・改修、及び改修内容の検討 H30～</p>
	<p>※歩道整備は、見通しがよくなり車の速度が上がることによって危険になる見解あり。整備方法は、休校施設の利活用の動向を注視しながら、関係機関と協議・検討していく。</p>